

8月のブログ：コモンウェルス・ゲームズについて

日本語版

皆様、こんにちは！Hello everyone!

8月は夏の真っ盛りで、イギリス英語で今は「boiling」(「ボイリング」日本語：非常に暑い。)で「muggy」(「マギー」日本語：非常に湿気ている)ですね！イギリスの涼しい夏に比べて本当に違いますが、精一杯頑張っています！



Hello!

国籍：イギリス (United Kingdom)

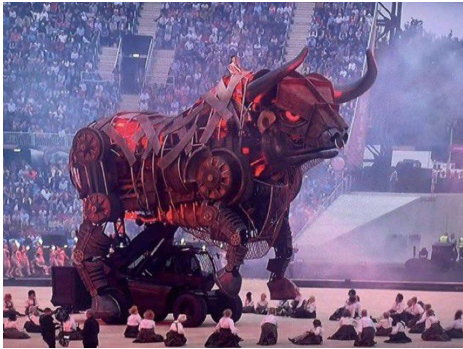
氏名：アルフィー (Alfie Fellowes)

職業：箕面市国際交流員

趣味：ハイキング，漫画，旅行

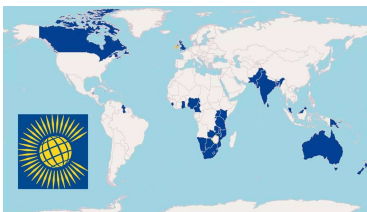
夏はリラックスしたり、アイスクリームを食べたり、ビーチに行く季節ですが、スポーツの季節でもあります。日本では、フットボール（イギリス英語のサッカー！）のJ1リーグや、甲子園で開催される夏の高校野球が開催されます。さらに、今年は日本が世界陸上選手権大会の開催国になります！また、4年に1度の夏の祭典といえば、オリンピックですね。2012年はロンドンが開催都市だったことをよく覚えていますし、もちろん2020年の(2021年?)東京大会も記憶に新しいです。オリンピック同様に4年に1度の開催で、オリンピックの間の年に開催されるもう一つの大きなスポーツイベントがあります：コモンウェルス・ゲームズです！

英語圏以外の人々の中には、コモンウェルス・ゲームズについて知らない人も多いかもしれませんが、これは非常に大規模で権威あるイベントで、開催都市で開会式やお祭りが開催されます。前回のコモンウェルス・ゲームズは2022年に開催され、私の出身のバーミンガムが開催都市を務めました。72カ国と自治区から4,800人を超えるアスリートがバーミンガムに集まり、参加しました！開会式はチャールズ皇太子によって主宰され、バーミンガムの工業的な過去を象徴する巨大なロボットの牛も登場しました！このロボット牛は、ロックバンド「ブラック・サバス」のボーカル、オジー・オズボーンにちなんで「オジー」と名付けられ、バーミンガムがヘヴィメタルの誕生地であることにちなむものです！



左: オジーの開会式でのパフォーマンス。現在はバーミンガムの中央駅に立っています！(提供: amedm.com)

コモンウェルス・ゲームズとオリンピックの主な違いはなんでしょうか。どちらも国々が金、銀、銅のメダルを争う大規模な国際スポーツ大会です。また、どちらも長い歴史があって、最初の近代オリンピックは 1896 年に、最初のコモンウェルスゲームズは 1930 年に開催されました。主な違いは、どの国が参加するかという点にあります。通常、オリンピックには原則どの国でも参加できますが、コモンウェルスゲームズはイギリス連邦の加盟国を招待します。これらの国は、主にイギリス帝国の旧植民地やイギリスと強い文化的つながりを持つ国々で構成されています。そのため、カナダ、バルバドス、ケニア、ニュージーランドなどは参加しますが、メキシコ、日本、アメリカ（革命でイギリスから離脱し、イギリス連邦のメンバーではないため）などは参加しません。また、オリンピックとは異なり、私の出身のイギリスはイングランド、スコットランド、ウェールズ、北アイルランドの 4 つの地域に分かれています。オリンピックでは、これら 4 つの地域が「チーム GB」（GB は Great Britain, イギリスの意味）として一つになって競技に参加します。もう 1 つの大きな違いはコモンウェルスゲームズには、オリンピックにはないユニークな種目もいくつかあります。例えば、ボウリング、ネットボール、スカッシュなどです！



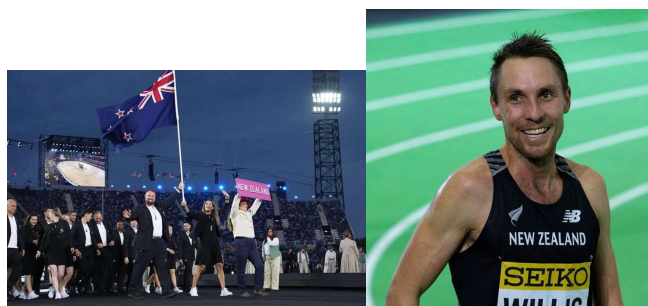
左: イギリス連邦 (Commonwealth of Nations) の加盟国 (提供: fity.club)

右: 開催都市のキャラ。ニュージーランドのキーウィは右上 (提供: blogspot.com)

ニュージーランドとコモンウェルス・ゲームズは長い歴史があり、1930 年の開始以来、ニュージーランドは 3 回この大会を主催しています。この大会は、ニュージーランドのスポ

ーツ史において重要な役割を果たして、選手たちにとっては、オリンピックに向けての技量を維持するためのいい機会となっています。

2022 年大会には、ニュージーランドは 233 人の選手をバーミンガムに派遣し、自転車や水泳などの競技で 20 個の金メダルを含む 49 個のメダルを獲得し、72 カ国と自治区の中 5 位となりました。箕面市の国際協力都市のハット市も、コモンウェルス・ゲームズの選手を輩出しています。ハット市で生まれ育ったニック・ウィリス選手は、2006 年大会の陸上男子 1500m 競争でニュージーランドに金メダルをもたらしました



左: 2022 年大会のニュージーランド代表团 (提供: NZsociety.com)

右: 国際協力都市のハット市に生まれ育ったニック・ウィリス選手 (提供: rellifestories.org)

コモンウェルス・ゲームズは日本でそれほど知られていないかもしれませんが、次のオリンピックが開催される 2028 年ロサンゼルス大会まで待てないなら、楽しい「ミニオリンピック」として観戦する価値があります！来夏には、コモンウェルス・ゲームズがスコットランドのグラスゴー（私の母の故郷！）で開催されます。お気に入りのチームを応援したい、またはイギリスやニュージーランドのスポーツ文化について学びたいなら、ぜひ観戦してみてくださいね！



モミジヌもスポーツ大会行きたいモミー！